**平和統一運動次世代リーダー育成のための**

**「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門及びエッセイ応募原稿フォーマット**

**■「私から始まる平和統一大賞」とは**

　朝鮮戦争によって分断された朝鮮半島と在日コリアン。先人たちが夢にまで見た「統一」はいつ来るのでしょうか？　最近の国家情勢で考えると問題があまりにも大きく見えて、何から手を付けて良いのか、わからなくなってしまうことはありませんか。しかし、皆さんが「心の壁」を乗り越えた小さな体験が、何かしら在日同胞の和合に役に立った事はなかったでしょうか？

　’為に生きる’神様主義の真の愛を根本精神として国籍と思想、組織を超越して、国内外の韓民族の和合と統一の実現を目指す平和統一聯合は、この度、皆様の「心の壁」を乗り越えた経験を、同世代や後に続いていく世代の力とするために、創設20周年記念企画としてこの賞を創設いたしました。

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 | 「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門、会員及び一般部門　エッセイ募集 |
| 募集テーマ | 「私の心の壁を越えて始まった平和統一の経験」・自分の置かれている環境でぶつかった「心の壁」、なぜそれが「壁」であったか、どのようにして乗り越えたか、そのきっかけや周りからの言葉、勉強になったと思う自分の経験、そしてそれが在日同胞の和合、朝鮮半島の平和統一にどのように発展していく可能性があるかをスピーチ、または記述。 |
| 応募条件 | 平和統一聯合に所属している会員、担当者。または左記から紹介を受けた方。 |
| 募集期間 | 青年スピーチ部門：2024年６月16日（日）まで地方予選会員及び一般部門　エッセイ募集：2024年４月１日（月）～2024年６月17日（月） |
| スピーチ原稿規程 | 【青年スピーチ部門】　５分以上７分以内（制限時間を超過した場合は減点）。※パワーポイント使用可。【会員及び一般部門　エッセイ募集】800字以上3000字以内、１人１点。※両部門とも主となる言語を日本語で行うこと。部分的に韓国・朝鮮語、または他国の言語を使用しても良いが、日本語の意味を付け加えること。 |
| 応募方法 | Wordファイルのまま、応募フォームよりご応募ください。※ 青年スピーチ部門に応募の方も、同様に原稿を提出してください。 郵送、FAXでのご応募はご遠慮いただいております。 |
| 発表 | 2024年6月下旬　ホームページにて公開入賞者には、メールまたはお電話にて直接ご連絡をさしあげます。青年スピーチ部門の大賞受賞者は、７月４日東京都内の記念行事でスピーチします。その交通費は本部負担。 |

**題名：　「私から始まる平和統一」**

**お名前：　　佐藤和世**

(下記より本文をご記入ください)

5月の終わりごろ、札幌の平和統一聯合の活動で平和の滝にある「韓国人殉難者之慰霊碑」にお参りに行くことになった。　札幌に住んで35年以上になるのに、そういう慰霊碑があることも知らずにいた。　前日からお天気が悪く、明日いけるのかな、行くのかな、などと思っていた。当日早朝は雨は降っていなかったが天気が、だんだん悪くなりそうな…　そんな中朝早く　今日、行きます！と連絡が
朝早い連絡に何か確信と決意を感じながら私も待ち合わせ場所にお供え物を持って向かった。何人かで車に乗り合わせて平和の滝に向かった。札幌市内なのに遠く感じた。
着くと、駐車場の片隅にその慰霊碑は堂々と立っていた。その慰霊碑には「韓国人殉難者之慰霊碑」と書いてあった。
その文字を読みながら受難者という文字が胸に刺さった。
戦時中強制労働のため日本に連行されてきて犠牲となった韓国の人々を祀っている。過酷な労働環境でひたすら故郷を思って耐えたのだろうか
私も若い頃、自分は何のために生まれてきたのだろうと悩んだ期間があったが、そんな、なまやさしいことではないことをはっきり感じた。
日本人として深い反省の念に突き動かされた。
この胸の痛みは今も私の胸に残っている。
ただただ朝鮮半島の南北統一そして世界平和を願った一日でした。この思いは今も続いているし、強くなっています。